

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日(土)～14日(日)

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JRホテルクレメント高松

プレコングレスワークショップ4	
企画名	SEAの手法を用いた振り返りカンファレンス ～SEAの理論とその応用方法について～
日時	2017年5月12日(金) 11:40～13:10
会場	第6会場 (サンポートホール高松 ホール棟 7F 第3リハーサル室)
企画責任者	松浦 武志 (北海道勤医協中央病院)
定員	54名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>医師の生涯学習において、一つ一つの症例から学ぶべきことは非常に多いと思います。特にその症例が失敗症例であった場合は、そこから得られる教訓は一生忘れ得ない貴重なものになりますが、本来その教訓は多くの医師はじめ医療関係者で共有した方がよいでしょう。しかし、「責められるかもしれない。訴訟になるかもしれない」という思いから、ともすればそうした経験は本人の胸の内だけにしまい込まれてしまうことが多いようです。</p> <p>このセッションではこうした失敗症例に代表されるヒヤリハット症例を少人数で振り返るカンファレンス手法をご紹介します。特に発表者の感じる心の葛藤に配慮した振り返りカンファレンスの運営や準備のポイントを中心に解説します。</p> <p>【概要】</p> <p>このワークショップでは、重大な出来事を振り返る方法として有効とされるSEA (Significant Event Analysis) の理論を簡単に説明した後、実際のカンファレンスの準備の仕方や、カンファレンスでの司会のコツなどを解説します。その後実際に当院の後期研修医が経験したヒヤリハット症例を用いて、実際の振り返りカンファレンスを体験していただきます。SEAの手法の活かし方をはじめ、発表者を責めない (No Blame) 雰囲気や学びを共有する雰囲気の作り方などを実体験することができるでしょう。</p> <p>ワークショップの参加者に特に制限はありません。初期研修医であれば、振り返りカンファレンスの醍醐味を堪能してください。後期研修医であれば、このカンファレンスの発表者と同じく失敗症例からの振り返り方法を学習してください。指導医以上であれば研修医指導技術のさらなる向上の一助にいただければと思います。</p>	